

使用教科書：（新編化学基礎、新編生物基礎（東京書籍））

教科 理科演習 の目標：

【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

科目 理科演習 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p><b>A 酸・塩基とその反応</b></p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができるようになる。</li> <li>水溶液の性質（酸性・中性・塩基性）と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付ける。</li> <li>中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解する。</li> <li>中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求める。</li> <li>中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察する。</li> <li>学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察する。</li> <li>中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸、塩基や中和反応に関心を持ち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究する。</li> <li>酸と塩基の反応の量的関係を物質と関連付けて考察する。</li> <li>学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質および中和反応に関与する物質の量的関係について理解する。</li> <li>教材 教科書、ワーク、授業プリント</li> <li>一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができる。</li> <li>水溶液の性質（酸性・中性・塩基性）と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。</li> <li>中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。</li> <li>中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。</li> <li>学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察できる。</li> <li>中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸、塩基や中和反応に関心を持ち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。</li> <li>酸と塩基の反応の量的関係を物質と関連付けて考察しようとする。</li> <li>学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</li> </ul>	○	○	○	17
	定期考査				○	○	
	<p><b>B 酸化還元反応</b></p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付ける。</li> <li>酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができるようになる。</li> <li>酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができるようになる。</li> <li>酸化還元反応の量的関係を理解する。</li> <li>金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。</li> <li>教材 教科書、ワーク、授業プリント</li> <li>一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。</li> <li>酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。</li> <li>酸化還元反応の量的関係を理解している。</li> <li>金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	17

	<p>・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現する。</li> <li>・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究する。</li> <li>・酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察する。</li> <li>・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。</li> </ul> <p>定期考査</p>		<p>・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現できる。</li> <li>・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとする。</li> <li>・酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。</li> <li>・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</li> </ul>	○	○		1
2 学 期	<p>&lt;生物分野&gt;</p> <p>単元4編 生物の多様性と生態系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境によって生息する生物が異なることを理解する。</li> <li>・バイオームと種多様性の関係について理解する。</li> <li>・生物の多様性について、3つの視点から理解を深める。</li> <li>・食物網について理解する。</li> <li>・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。</li> <li>・生態系エンジニアと生態系について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系から特定の生物を除去したときの影響から、被食と捕食による生物どうしのつながりに気づき、生物の関係性が種多様性に関わることを見だして理解する。</li> <li>・ラッコの減少を例に生態系の変化について知る。</li> <li>・オオカミの再導入の例から、生態系の回復について知る。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンリスを例に、生態系において生物どうしが関わり合っていることに気づく。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>生物の多様性について理解を深める。</p> <p>・教材</p> <p>教科書、ワーク、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境によって生息する生物が異なることを理解する。</li> <li>・バイオームと種多様性の関係について理解する。</li> <li>・生物の多様性について、3つの視点から理解を深める。</li> <li>・食物網について理解する。</li> <li>・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。</li> <li>・生態系エンジニアと生態系について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系から特定の生物を除去したときの影響から、被食と捕食による生物どうしのつながりに気づき、生物の関係性が種多様性に関わることを見だして理解する。</li> <li>・ラッコの減少を例に生態系の変化について知る。</li> <li>・オオカミの再導入の例から、生態系の回復について知る。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンリスを例に、生態系において生物どうしが関わり合っていることに気づく。</li> </ul>	○	○	○	17
	<p>&lt;生物分野&gt;</p> <p>単元3節 生態系と攪乱</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人為的攪乱について生物の多様性との関係を理解する。</li> <li>・台風や大雨などの自然攪乱について、生物の多様性との関係を理解する。</li> <li>・絶滅について、日本における現状とともに理解する。</li> <li>・自然攪乱と生物多様性について知る。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の復元力（レジリエンス）について、生態系のバランスとの関係を理解する。</li> <li>・環境アセスメントの具体的な事例をもとに、生態系の保全の重要性を見いだして理解する。</li> <li>・生態系とその保全について整理する。</li> <li>・生態系サービスと自然資本について知る。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>自然界における生態系の複雑さを理解し、様々な攪乱がおきていることを実社会と結び付けながら指導する。</p> <p>・教材</p> <p>教科書、ワーク、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人為的攪乱について生物の多様性との関係を理解することができる。</li> <li>・台風や大雨などの自然攪乱について、生物の多様性との関係を理解することができる。</li> <li>・絶滅について、日本における現状とともに理解することができる。</li> <li>・自然攪乱と生物多様性について理解することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の復元力（レジリエンス）について、生態系のバランスとの関係について考察することができる。</li> <li>・環境アセスメントの具体的な事例をもとに、生態系の保全の重要性を見いだして理解することができる。</li> <li>・生態系とその保全について整理することができる。</li> <li>・生態系サービスと自然資本について整理することができる。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>定期考査</p>			○	○		1



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科：理科 科目：理科実習

教科：理科

科目：理科実習

単位数：2単位対 象学年組：第2学 A組

使用教科書：(なし)

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

科目 理科実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。  自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>A 科学と技術の始まり</p> <p>【知識及び技能】 現代の科学技術文明が科学によって支えられ、発展してきたこと、科学技術と科学を切り離して考えることができないことを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然界には未知のことが多くあるとともに、科学技術によって地球環境に影響を及ぼすことがあることを理解させ、科学には課題があり、研究が進められていることに気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>教材</li> <li>学習プリント</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】・ 科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わり合って発展してきたか、意欲的に学習しようとする。</p>	○	○	○	5
	<p>B 海 ―海を科学の眼で見よう</p> <p>【知識及び技能】 海洋の研究・調査の話題を通して、科学の各分野がかかわっていること、科学の研究が私たちの生活にいかされていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域の海岸で磯採集や海水採取海水魚の飼育などの活動を通して、生物が息する環境にはどのような要素があるか考えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域の海岸で磯採集や海水採取海水魚の飼育などの活動を通して、継続して学習課題に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>教材</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 海洋の研究・調査の話題を通して、科学の各分野がかかわっていること、科学の研究が私たちの生活にいかされていることが理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 海洋について進められている研究・開発の概要を理解し、日本における海洋研究の意義や役割を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域の海岸で磯採集や海水採取海水魚の飼育などの活動を通して、継続して学習課題に取り組むことができる。</p>	○	○	○	20

2 学 期	<p>C 土—農業を通して考える—</p> <p>【知識及び技能】 農業には、生物や気象などさまざまな自然現象が関連しており、科学技術を利用することで農業が発展してきたことを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 農作物を育成する実体験を通して、植物が成長するための自然現象やその他の要素について考えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 農作物を育成する実体験を通して、育成における成功や失敗を繰り返しながら継続して学習課題に取り組みさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 農業における微生物の役割や、化学肥料の開発における尿素的合成など、科学と技術の発展に際し観察・実験の果たした役割についてまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業における生物学、化学等の役割を理解し、それぞれを関連させて表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 農作物を育成する実体験を通して、育成における成功や失敗を繰り返しながら継続して学習課題に取り組みさせる。</p>	○	○	○	15	
	<p>D 身近な自然景観と自然災害</p> <p>【知識及び技能】 火山の性質と想定される災害には関連性があり、火山の性質を知ることが、災害が想定される状況になったときの判断につながることを理解させる。 気圧配置から、起こりうる気象災害を予想できることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 過去の火山災害や気象災害について調べることで、自分たちが居住している地域で起こりうる災害について予想させ、万が一災害が想定される状況が発生したときに自分自身とすべき行動を表現する力を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 火山や気象に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 火山や気象に関する知識 火山の調査法、気象観測法 火山災害や気象災害の調査方法</p> <p>・教材 関係機関のWEBページ</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 火山や気象に関連した自然景観の特徴について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 火山や気象に関連した自然景観の特徴について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 火山や気象に関連した自然景観の特徴について、調査、まとめに進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	13	
3 学 期	<p>E 身近な天体と太陽系における地球</p> <p>【知識及び技能】 天体の運行や、さまざまな天体と宇宙のしくみについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 太陽や惑星、天体の観察、を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 天体や宇宙に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 天体に関する知識 天体観測の方法 天体に関する調査法</p> <p>・教材 天体観測機器</p> <p>・一人1台端末の活用 関係機関のWEBページ</p>	<p>【知識・技能】 天体の運行や、さまざまな天体と宇宙のしくみについて、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観測、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 天体の運行や、さまざまな天体と宇宙のしくみについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 天体の運行や、さまざまな天体と宇宙のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8	

<p>F 微生物とその利用 自然界における微生物の役割</p> <p>【知識及び技能】 微生物にはさまざまな種類があり、私たちの生活にも深くかかわっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 微生物に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 微生物の特徴に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 微生物に関する知識 微生物の培養と観察法</p> <p>・教材 顕微鏡</p> <p>・一人1台端末の活用 関係機関のWEB ページ</p>	<p>【知識・技能】 微生物の特徴やはたらきについて、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 微生物の特徴やはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 微生物の特徴やはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				<p>9</p>
<p>合計 70</p>						

使用教科書：（精選 論理国語）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論理的思考力を育むために必要な語彙力を向上し、文や文章の効果的な構成や展開についての理解を深める。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に捉え、主張や要旨を把握する力を身につける。また、主張や要旨に対して批判的に検討し、それらを踏まえて自分なりの意見を伝える力を高める。	言葉のもつ価値への理解を深め、他者と協働しながらコミュニケーションを通して言葉を使うことで言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 清岡卓行「ミロのヴィーナス」  【知識及び技能】 ・言葉の働きを知るとともに、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方についての理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の意図を踏まえながら、論理展開や表現の仕方を読み取り、文章の要旨を捉える。  【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、芸術に対する見方を深める。	・一人1台端末の活用 ・論理的な文章について ・逆説について ・特殊・普遍など対概念について		○	○	【知識及び技能】 ・抽象的な語句や逆説的、比喩的表現の具体的な内容を理解している。 ・「譲歩」などの接続表現を知り、文章で使うことができる。  【思考力、判断力、表現力等】 ・両腕が失われなければならなかった理由を、筆者の主張を踏まえて理解している。 ・手のもつ意味と両腕の欠落との関係を的確に把握している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・ミロのヴィーナスなどの芸術作品を多角的な視点から捉え、芸術に対する見方を広げている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B 単元 鈴木孝夫「相手依存の自己規定」  【知識及び技能】 ・論じたり、学術的な文章を学んだりするための語句を身につけ、文章の中で使うことを通して語彙を豊かにする。  【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や内容を的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握する。  【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の意見を、身近な例に照らし合わせながら、自己把握に役立てている。	・一人1台端末の活用 ・人称代名詞について ・言葉と考え方の関係性について ・言語と思考の結びつきについて		○	○	【知識及び技能】 ・普通の生活で使用している人称代名詞について知り、理解している。 ・言葉が、人間の考え方に影響を及ぼすことについて把握している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・文章で比較されている日米の学生の考え方の違いを、筆者の主張を踏まえながら理解している。 ・人称代名詞に関する身近な例を整理・分析したうえで、筆者の主張する日米の自己把握の在り方の違いを批判的に検討し、それについて自分の考えをまとめられている。  【学びに向かう力、人間性等】 ・日本人の自我構造についての筆者の主張を的確に読み取ったうえで、人称代名詞に関する身近な例	○	○	○	12



<p>・「スポーツ」が「消費」されることの功罪について、本文の記述を参考にしながら考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・身近な部活動などを参考にしながら、スポーツとメディアとの関係性について考えようとしている。</p>				<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・筆者の主張を踏まえながら、身近な例を参考にしてメディアとスポーツの関係性について考えようとしている。</p> <p>・スポーツに限らず、メディアとの関係性について興味を持って広く探究している。</p>				
<p>定期考査</p>					○	○		<p>1</p> <p>合計</p> <p>70</p>



<p>A 単元 Lesson2 A New Way to Clean Up the Ocean</p> <p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・海のプラスチックごみ回収のためのアイデア ・SV00 ・It seems that 節 ・フレーズ・リーディング</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>		○			○		○	○	○	1	
<p>C 単元 Lesson3 Cuba</p> <p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・平等と助け合いの国キューバについて ・形式主語の it ・形式目的語の it ・パラグラフ・リーディング</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	○	○	○	10	



<p>意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>																					
<p>F 単元 Lesson6 A Space Elevator 【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>・宇宙エレベーターについて</li> <li>・現在完了形</li> <li>・現在完了進行形</li> <li>・過去完了進行形</li> <li>・未来進行形</li> <li>・話題の提示</li> </ul>																				
<p>定期考査</p>		○			○																1
<p>G 単元 Lesson7 An Encouraging Song 【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>・ZARDについて</li> <li>・助動詞</li> <li>・助動詞+have+過去分詞</li> <li>・wouldを使った表現</li> <li>・完了不定詞</li> <li>・固有名詞</li> </ul>																				10



<p>たりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>											
<p>I 単元 Lesson10 The Five-story Pagoda of Horyuji 【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・同格を表す that ・倒置 ・省略 ・強調構文 ・未知語の推測</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	○	○	○	<p>12</p> <p>合計</p> <p>105</p>



<p>A 単元 Lesson2 The new wave of sports</p> <p>【知識及び技能】 ○文化祭についてパートナーと話し合うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・助動詞の表現 (used to, should など) ・助動詞+have+過去分詞 ・be 動詞+to 不定詞</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				6
<p>定期考査</p>			○					○	○	○	1
<p>C 単元 Lesson3 The future of technology</p> <p>【知識及び技能】 ○旅行の経験をクラスに話すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・受動態 ・不定詞</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				6
<p>D 単元 Lesson4 Rediscover Kabuki</p> <p>【知識及び技能】 ○スポーツや音楽の経験をパートナーに話すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・不定詞 ・知覚動詞、使役動詞</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p>				6

	<p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>							<p>確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>								
	定期考査			○			○			○	○	○	1			
2 学 期	<p>E 単元 Lesson5 Will our lives change with AI? 【知識及び技能】 ○パートナーに将来の夢を語るができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・動名詞 ・分詞構文 ・with + 0 + 分詞</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>					○	○	○	6

<p>F 単元 Lesson6 Experience Madagascar' s wildlife</p> <p>【知識及び技能】 ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・日常生活に関する表現 ・比較</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				6
<p>定期考査</p>		○		○		○		○	○	○	1
<p>G 単元 Lesson7 Can we go and live on Mars?</p> <p>【知識及び技能】 ○贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・関係代名詞 ・関係副詞</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				6
<p>H 単元 Lesson8 Language and society</p> <p>【知識及び技能】 ○スポーツをすることの利点について発表することができる。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・仮定法</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p>				6

<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>						<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				
<p>I 単元 Lesson9 Send our love to the world</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>○自分自身や性格について発表することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・否定の表現 ・代名詞を使った表現</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	○	○	○	10

3  
学  
期

<p>I 単元 Lesson10 Follow in our hero' s footsteps</p> <p>【知識及び技能】 ○日本の文化や日本人たちについて発表することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・無生物主語構文 ・that を使った表現</p>						<p>【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>				<p>9</p> <p>合計 70</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	--	--	--	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	---------------------------

使用教科書：（物理基礎 東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解できる。とともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、主体的に設定した課題のものと予想や考察の時間を中心に科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 物理量の測定と扱い方・運動の表し方</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物理量の表し方や測定における不確かさ、測定値の扱い方、有効数字の計算や科学表記の方法を理解する。</li> <li>運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、時刻や時間の違い、位置について理解する。</li> <li>運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、速さについて理解する。</li> <li>速さには瞬間の速さと平均の速さがあることを理解する。</li> <li>物体の運動の向きと速さを合わせた量である速度について理解し、速さと速度の違いを知る。</li> <li>変位と時刻の関係や、速度と時刻の関係をグラフに表す方法を理解できる。</li> <li>平均の速度と瞬間の速度や合成速度とその求め方について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>記録タイマーとテープを使って、自分自身の運動について調べ、レポートを作成したり他の人の運動と比べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切り取った物体の写真を観察し、物体の運動を伝えるにはどのような情報が必要か考える。</li> <li>直線を走っている人の速さについて、速さが一定であることを確かめる方法について考える。</li> <li>連続写真などを用いて、等速直線運動する物体の <math>x-t</math> グラフや <math>v-t</math> グラフを表現したり、グラフを読み取ったりし、その特徴について理解する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>記録タイマーとテープを使って、自分自身の運動について調べ、レポートを作成し他の人の運動と比較検討できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電車での体験を例に、2つの物体の運動を観測するときについて考える。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>観察・実験を中心に据えて、予想や考察の間では思考ツールを使用して生徒一人一人にきちんと考えさせて物理的な規則性や法則に迫る。</p> <p>・教材：教科書、ワーク、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物理量の表し方や測定における不確かさ、測定値の扱い方、有効数字の計算や科学表記の方法を理解できる。</li> <li>運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、時刻や時間の違い、位置について理解できる。</li> <li>運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、速さについて理解できる。</li> <li>速さには瞬間の速さと平均の速さがあることを理解できる。</li> <li>物体の運動の向きと速さを合わせた量である速度について理解し、速さと速度の違いを理解することができる。</li> <li>変位と時刻の関係や、速度と時刻の関係をグラフに表す方法を理解できる。</li> <li>平均の速度と瞬間の速度や合成速度とその求め方について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>記録タイマーとテープを使って、自分自身の運動について調べ、レポートを作成し他の人の運動と比較検討できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切り取った物体の写真を観察し、物体の運動を伝えるにはどのような情報が必要か考えることができる。</li> <li>直線を走っている人の速さについて、速さが一定であることを確かめる方法について考えることができる。</li> <li>連続写真などを用いて、等速直線運動する物体の <math>x-t</math> グラフや <math>v-t</math> グラフを表現したり、グラフを読み取ったりし、その特徴について理解できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>記録タイマーとテープを使って、自分自身の運動について調べ、レポートを作成し人の運動と比較検討できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電車での体験を例に、2つの物体の運動を観測するときについて考えることができる。</li> <li>さまざまなスポーツの場面を参考に、合成速度と相対速度について理解を深めることができる。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>B 直線運動の加速度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水平面上を進む物体と斜面を下る物体の運動のようすの違いについて比較し、斜面を下るときには速度が変化することを理解する。</li> <li>実験結果をふまえ、速度の変化を加速度ということ、その求め方を理解する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>観察・実験を中心に据えて、予想や考察の間では思考ツールを使用して生徒一人一人にきちんと考えさせて物</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水平面上を進む物体と斜面を下る物体の運動のようすの違いについて比較し、斜面を下るときには速度が変化することを理解できる。</li> </ul>	○	○	○	12

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度と同様に、加速度にも瞬間の加速度と平均の加速度があることを知る。</li> <li>・等加速度直線運動のようすを表す3つの式について理解する。</li> <li>・斜面を上がる運動のように、加速度が負になる場合の運動の特徴について理解する。</li> <li>・等加速度直線運動の式やグラフの扱い方を理解する。</li> <li>・自由落下とはどのような運動か理解する。</li> <li>・物体が自由落下するときの加速度（重力加速度）について理解する。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・曲面上を下る場合の運動がどのようなようになるか考察する。</li> <li>・加速度が一定である直線運動を等加速度直線運動ということを理解し、等加速度直線運動の <math>v-t</math> グラフや <math>x-t</math> グラフの特徴について理解する。</li> <li>・自由落下とはどのような運動か理解する。</li> <li>・実験1で学んだ実験手法を用いて、自由落下する物体の運動の特徴を調べ、考察する。</li> <li>・物体が自由落下するときの重力加速度について理解する。</li> <li>・自由落下のようすを表す式について、等加速度直線運動の式から導けることを理解する。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・これまでの学習を生かし、水平面上を運動する小球のストロボ写真から小球の運動がどのようなものか知る。</li> <li>・斜面を下る力学台車の運動のようすをこれまで学習した <math>v-t</math> グラフや <math>x-t</math> グラフに表して結果について考察し、速度と時間の関係を見いだす。</li> <li>・バンジージャンプで飛び降りた人の運動のようすについて考えることができる。</li> </ul>	<p>理的な規則性や法則に迫る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材：教科書、ワーク、授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果をふまえ、速度の変化を加速度ということ、その求め方を理解できる。</li> <li>・速度と同様に、加速度にも瞬間の加速度と平均の加速度があることに気付いて理解できる。</li> <li>・等加速度直線運動のようすを表す3つの式について理解できる。</li> <li>・斜面を上がる運動のように、加速度が負になる場合の運動の特徴について理解できる。</li> <li>・等加速度直線運動の式やグラフの扱い方を理解できる。</li> <li>・自由落下とはどのような運動か理解できる。</li> <li>・物体が自由落下するときの加速度（重力加速度）について理解できる。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・曲面上を下る場合の運動がどのようなようになるか考察することができる。</li> <li>・加速度が一定である直線運動を等加速度直線運動ということを理解し、等加速度直線運動の <math>v-t</math> グラフや <math>x-t</math> グラフの特徴について理解できる。</li> <li>・自由落下とはどのような運動か理解できる。</li> <li>・実験1で学んだ実験手法を用いて、自由落下する物体の運動の特徴を調べ、考察する。</li> <li>・物体が自由落下するときの重力加速度について理解できる。</li> <li>・自由落下のようすを表す式について、等加速度直線運動の式から導けることを理解できる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・これまでの学習を生かし、水平面上を運動する小球のストロボ写真から小球の運動がどのようなものか気付くことができる。</li> <li>・斜面を下る力学台車の運動のようすをこれまで学習した <math>v-t</math> グラフや <math>x-t</math> グラフに表して結果について考察し、速度と時間の関係を見いだすことができる。</li> <li>・バンジージャンプで飛び降りた人の運動のようすについて気付くことができる。</li> </ul>				1
定期考査				○	○		1
2学期	<p>0さまざまな運動とその力のはたらき</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の3要素や力の矢印の書き方について理解する。</li> <li>・2力のつり合いについて理解する。</li> <li>・身近な例をもとに、慣性の法則について理解する。</li> <li>・物体にはたらく力にはさまざまな種類があること、その特徴やはたらいているとわかる理由を理解する。</li> <li>・フックの法則について理解する。</li> <li>・力（ベクトル）は成分に分けて表すことができることとその表し方を理解する。</li> <li>・物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係（運動の法則）と運動方程式について理解する。</li> <li>・作用・反作用の法則について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体に力がはたらくと運動のようすはどのように変わるかを図を用いて考察する。</li> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係が具体的な数値としてどのような関係にあるかを調べるための実験計画を立てる。</li> <li>・ばねばかりで引いた力学台車の運動のようすについて、<math>v-t</math> グラフや <math>a-F</math> グラフに表し、物体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>観察・実験を中心に据えて、予想や考察の時間では思考ツールを使用して生徒一人一人にきちんと考えさせて物理的な規則性や法則に迫る。</li> <li>・教材：教科書、ワーク、授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の3要素や力の矢印の書き方について理解できる。</li> <li>・2力のつり合いについて理解できる。</li> <li>・身近な例をもとに、慣性の法則について理解できる。</li> <li>・物体にはたらく力にはさまざまな種類があること、その特徴やはたらいているとわかる理由を理解できる。</li> <li>・フックの法則について理解できる。</li> <li>・力（ベクトル）は成分に分けて表すことができることとその表し方を理解できる。</li> <li>・物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係（運動の法則）と運動方程式について理解できる。</li> <li>・作用・反作用の法則について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体に力がはたらくと運動のようすはどのように変わるかを図を用いて考察することができる。</li> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係が具体的な数値としてどのよう</li> </ul>	○	○	○	14

<p>にはたらく力と物体に生じる加速度の間にどのような関係があるかを見いだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を定性的に考える。</li> <li>・実験をもとに、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係がどのようになるかを予想し、それを調べるための実験方法を考え、実験し、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係を見いだす。</li> </ul> <p>ばねばかりで引いた力学台車の運動のようすについて、<math>v-t</math> グラフや <math>a-F</math> グラフに表し、物体にはたらく力と物体に生じる加速度の間にどのような関係があるかを見いだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を定性的に考えることができる。</li> <li>・実験をもとに、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係がどのようになるかを予想し、それを調べるための実験方法を考え、実験し、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係を見いだす。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が「落ちない」ということをどのように説明すればよいか考える。</li> <li>・ガリレオの思考実験をもとに、摩擦や空気抵抗がない場合の物体の運動について考える。</li> <li>・宇宙ステーションでの物体の運動をもと、物体に力が加わり続けると物体の運動がどうなるか考える。</li> <li>・鉄棒の例をもとに、3 力のつり合いについて考え、理解を深める。</li> <li>・力学台車の衝突をもとに、作用。反作用の法則について調べる。</li> </ul>		<p>な関係にあるかを調べるための実験計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばねばかりで引いた力学台車の運動のようすについて、<math>v-t</math> グラフや <math>a-F</math> グラフに表し、物体にはたらく力と物体に生じる加速度の間にどのような関係があるかを考えることができる。</li> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を定性的に考えることができる。</li> <li>・実験をもとに、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係がどのようになるかを予想し、それを調べるための実験方法を考え、実験し、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係を見いだすことができる。</li> </ul> <p>ばねばかりで引いた力学台車の運動のようすについて、<math>v-t</math> グラフや <math>a-F</math> グラフに表し、物体にはたらく力と物体に生じる加速度の間にどのような関係があるかを見いだすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を定性的に考えることができる。</li> <li>・実験をもとに、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係がどのようになるかを予想し、それを調べるための実験方法を考え、実験し、物体の質量と、物体に生じる加速度の関係を見いだすことができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が「落ちない」ということをどのように説明すればよいか考えようとする。</li> <li>・ガリレオの思考実験をもとに、摩擦や空気抵抗がない場合の物体の運動について考えようとする。</li> <li>・宇宙ステーションでの物体の運動をもと、物体に力が加わり続けると物体の運動がどうなるか考えようとする。</li> <li>・鉄棒の例をもとに、3 力のつり合いについて考え、理解を深める。</li> <li>・力学台車の衝突をもとに、作用。反作用の法則について調べることができる。</li> </ul>				
定期考査			○	○		

	<p>D 物体の運動とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の向きと仕事の関係や力の向きと移動の向きが任意のときの仕事の表し方について理解する。</li> <li>・運動エネルギーの変化と仕事の関係について理解する。</li> <li>・重力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。</li> <li>・弾性力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。</li> <li>・運動エネルギーと位置エネルギーが移り変わる運動について定量的な実験を行い、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの関係について理解する。</li> <li>・重力のみが仕事をする運動について、物体の運動エネルギー、位置エネルギーを考え、力学的エネルギーが保存されることを理解する。</li> <li>・保存力以外の力が仕事をする場合の力学的エネルギーの変化とその仕事の関係を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具を使用する場合としない場合のデータをもとに、物理における仕事の表し方と仕事の原理について理解する。</li> <li>・表のデータをもとに、仕事率について理解する。</li> <li>・物体が一定の速さで運動しているときの仕事と速さの関係を理解する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で使用するエネルギーに着目してその例を挙げ、エネルギーについて考える。</li> <li>・ボウリングのピンの飛び方が異なる写真を見て、運動エネルギーに関係する物理量について考える。</li> <li>・ブランコを例に、位置エネルギーの移り変わりについて考える。</li> <li>・運動エネルギーと位置エネルギーが移り変わる運動にどのようなものがあるか考える。</li> </ul>	<p>・指導事項 観察・実験を中心に据えて、予想や考察の時間では思考ツールを使用して生徒一人一人にきちんと考えさせて物理的な規則性や法則に迫る。</p> <p>・教材：教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の向きと仕事の関係や力の向きと移動の向きが任意のときの仕事の表し方について理解できる。</li> <li>・運動エネルギーの変化と仕事の関係について理解できる。</li> <li>・重力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解できる。</li> <li>・弾性力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解できる。</li> <li>・運動エネルギーと位置エネルギーが移り変わる運動について定量的な実験を行い、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの関係について理解できる。</li> <li>・重力のみが仕事をする運動について、物体の運動エネルギー、位置エネルギーを考え、力学的エネルギーが保存されることを理解できる。</li> <li>・保存力以外の力が仕事をする場合の力学的エネルギーの変化とその仕事の関係を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具を使用する場合としない場合のデータをもとに、物理における仕事の表し方と仕事の原理について理解できる。</li> <li>・表のデータをもとに、仕事率について理解できる。</li> <li>・物体が一定の速さで運動しているときの仕事と速さの関係を理解できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で使用するエネルギーに着目してその例を挙げ、エネルギーについて考えようとする。</li> <li>・ボウリングのピンの飛び方が異なる写真を見て、運動エネルギーに関係する物理量について考えようとする。</li> <li>・ブランコを例に、位置エネルギーの移り変わりについて考えようとする。</li> <li>・運動エネルギーと位置エネルギーが移り変わる運動にどのようなものがあるか考えようとする。</li> </ul>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3学期	<p>E 熱</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウン運動を観察し、熱運動や絶対温度とセルシウス温度の関係について理解する。</li> <li>・熱がエネルギーであることについて理解する。</li> <li>・水に熱を加えたときの温度変化と状態変化や内部エネルギーについて理解する。</li> <li>・直接熱を加える以外の内部エネルギーを増加させる方法について実験を通して知る。</li> <li>・内部エネルギーと仕事の関係（熱力学第1法則）について理解する。</li> <li>・エネルギー保存の法則について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度が熱運動の激しさを表すことを理解する。</li> <li>・物質の三態と物質の分子の状態を関連付けて理解する。</li> <li>・原子・分子の熱運動と潜熱について関連付けて理解し熱量の保存について理解できる。</li> <li>・物質の種類による物質の温まりやすさの違いについて理解し、実験データの分析をもとに、熱容量と比熱容量について理解する。</li> <li>・気体の状態変化の例として、断熱変化や断熱膨張があり、熱力学第1法則とどのような関係があるか知る。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>・指導事項 観察・実験を中心に据えて、予想や考察の時間では思考ツールを使用して生徒一人一人にきちんと考えさせて物理的な規則性や法則に迫る。</p> <p>・教材：教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウン運動を観察し、熱運動や絶対温度とセルシウス温度の関係について理解することができる。</li> <li>・熱がエネルギーであることについて理解できる。</li> <li>・水に熱を加えたときの温度変化と状態変化や内部エネルギーについて理解できる。</li> <li>・直接熱を加える以外の内部エネルギーを増加させる方法について、実験を通して理解することができる。</li> <li>・内部エネルギーと仕事の関係（熱力学第1法則）について理解できる。</li> <li>・エネルギー保存の法則について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度が熱運動の激しさを表すことを理解できる。</li> <li>・物質の三態と物質の分子の状態を関連付けて理解できる。</li> <li>・原子・分子の熱運動と潜熱について関連付けて理解し熱量の保存について理解できる。</li> <li>・物質の種類による物質の温まりやすさの違いについて理解し、実験データの分析をもとに、熱容量と比熱容量について理解できる。</li> </ul>	○	○	○	14

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温度計の例をもとに、温度をどのように測っているのか考える。</li> <li>・ パスタをゆでる際を例に、物質の量と温度の関係について考える。</li> <li>・ 寒いときに手をこすり合わせることや自転車の空気入れを例に、直接熱を加えずに温度を上げることができることに気付き、その理由を考える。</li> <li>・ 熱現象の不可逆性に関連して、熱力学第2法則について知り、理解を深める。</li> <li>・ 熱を加えずに物体の温度が上がることを確かめる。</li> <li>・ 蒸気機関車やエンジンなどを例に、燃料から発生した熱をどの程度仕事に変換できるのかを考え、効率がそれぞれ異なることに気付く。</li> <li>・ 学習内容を振り返り、熱機関によって排出する熱の有効活用について考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気体の状態変化の例として、断熱変化や断熱膨張があり、熱力学第1法則とどのような関係があるか理解できる。</li> <li>・ 熱現象の不可逆性に関連して、熱力学第2法則について知り、理解することができる。</li> <li>・ 振り子の運動について力学的エネルギー保存の法則を適用することを考えることができる。</li> <li>・ 一般的に力学的エネルギーが保存される場合の条件と、力学的エネルギー保存の法則について理解できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温度計の例をもとに、温度をどのように測っているのか考えようとする。</li> <li>・ パスタをゆでる際を例に、物質の量と温度の関係について考えようとする。</li> <li>・ 寒いときに手をこすり合わせることや自転車の空気入れを例に、直接熱を加えずに温度を上げることができることに気付き、その理由を考えることができる。</li> <li>・ 熱を加えずに物体の温度が上がることを確かめようとする。</li> <li>・ 蒸気機関車やエンジンなどを例に、燃料から発生した熱をどの程度仕事に変換できるのかを考え、効率がそれぞれ異なることに気付く。</li> <li>・ 学習内容を振り返り、熱機関によって排出する熱の有効活用について考えようとする。</li> </ul>				
定期考査			○	○		合計 70

使用教科書：（日本文教出版『高校生の美術2』）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し個性豊かで創造的に表すことができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・ 彫	デ	映						
<p>A 遠近法演習</p> <p>【知識及び技能】 導入で一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法の作図演習を行う</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】遠近法の概念を理解しさまざまなに応用する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】複数のメディアでどのように遠近法が活用されているかを調べる</p>	<p>・指導事項 一点透視図法で「わたしの部屋」を上からの視点で描く</p> <p>・教材 ・色鉛筆 24色、鉛筆（基本的に2Bを使用）、定規、ワークシート</p>	○	○			【知識・技能】パースラインがすべて描けているか 【思考・判断・表現】家具、インテリアなどについて関心が高く適切に配置されているか 【主体的に学習に取り組む態度】想像豊かに自分の部屋を表現できたか	○	○	○	8
<p>B 観光ピクトグラムの制作</p> <p>【知識及び技能】1964年東京オリンピックで世界的に広まったピクトグラムの制作プロセスを学ぶ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】日本語が通じない外国人に対して日本の慣習をどのように伝えるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】デザインを生かしてコミュニケーション能力を高める</p>	<p>・指導事項 工芸用色紙を使って神津島を訪れた外国人観光客のためのピクトグラムをつくる</p> <p>・教材 ・デザインカッター、工芸用色紙、ワークシート等</p>	○	○	○		【知識・技能】神津島の観光的要件を抽出しピクトグラムに生かすことができたか 【思考・判断・表現】外国人観光客の慣習や感性を理解して制作することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】日本と海外の文化の相違と共通性について思いをはせることができたか	○	○	○	8
<p>C 鉛筆デッサン（石膏像）</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考・判断・表現】デッサン・スケールを使って構図を決めることができるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】無駄な余白がないように構図を決める</p>	<p>・指導事項 画面に対象をどのように配置するか</p> <p>・教材 鉛筆（基本的に2Bを使用）カッター、折り紙削りかす入れ、練消しゴム、デッサン・スケール、A4白紙＋八つ切り画用紙</p>	○			○	【知識・技能】観察を続けると集中力が身につく 【思考・判断・表現】立体的に見えるのは光と影の組み合わせによるもの 【主体的に学習に取り組む態度】影のなかに机との反射を見つけることができた	○	○	○	10
<p>D 色彩のしくみと配色パターン</p> <p>【知識及び技能】色彩の性質を理解し色彩計画へとつなげる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自分なりの配色の組み合わせができるか</p>	<p>・指導事項 色彩計画</p> <p>・教材 配色カード（日本色研） 教科書『高校生の美術』（日本文教出版）</p>	○			○	【知識・技能】同系色でまとめないように留意したか 【思考・判断・表現】色の組み合わせの強弱や濃淡を考えよう 【主体的に学習に取り組む態度】個性が感じられるか。完成時にプレゼンテーションを行い、他の人の前で自作について説明する	○	○	○	8



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2単位 対象学年組： 第2学年A組

使用教科書：（ 教育図書『高等学校 家庭基礎 Survive!!』 ）

教科の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に資する実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に資する実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 家族と社会の関わりや現代の家族・家庭の特徴について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 家族関係の特徴を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 人の一生を生涯発達の視点で捉え、生涯を見通しどの様に生きるか考える	・自分にとって家族とは ・教科書・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 家族と社会の関わりや現代の家族・家庭の特徴について理解できたか 【思考・判断・表現】 家族関係の特徴を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 人の一生を生涯発達の視点で捉え、生涯を見通しどの様に生きるか考えることができたか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 家庭生活を支える基本的な法律について知る 【思考力、判断力、表現力等】 現代の家族問題と法律問題を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活に向かって目標を立て自分らしい生活設計について理解する	・家族と法律 ・教科書・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 家庭生活を支える基本的な法律について知り、理解することができたか 【思考・判断・表現】 現代の家族問題と法律問題を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の生活に向かって目標を立てられたか、自分らしい生活設計について理解できたか	○	○	○	10
	C 単元 【知識及び技能】 栄養素の種類と機能食品の特徴について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 食事と健康の関わりや、人の一生における食事の役割を知る 【学びに向かう力、人間性等】 日本の食文化を知り、食生活を想像する主体であることを認識する 定期考査	・食生活 ・教科書・資料集 ・調理器具 等	【知識・技能】 栄養素の種類と機能食品の特徴について理解できたか 【思考・判断・表現】 食事と健康の関わりや人の一生における食事の役割を知ることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の食文化を調べるなど、食生活を創造する主体であることを認識できたか	○	○	○	10
				○	○		1

2 学 期	D 単元 【知識及び技能】 衣生活の衛生管理と簡単な製作について実践し、環境に配慮した衣生活について身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか	・衣生活 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等	【知識・技能】 生地や素材の構成について理解し、環境に配慮した衣生活を身に付けることができたか 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない被服を考え、実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作する準備・片付けができたか	○	○	○	12
	E 単元 【知識及び技能】 食品の安全と衛生について理解し、環境に配慮した調理法を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない調理法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 調理理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか	・調理実戦 ・教科書・資料集 ・調理器具 等	【知識・技能】 食品の安全と衛生について理解し、環境に配慮した調理法を身に付けることができたか 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない調理法を考え、実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 調理理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に調理する準備・片付けができたか	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	F 単元 【知識及び技能】 成人と未成年の違いについての知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 消費社会の実現に向けて自立した消費者としてどの様に行動すべきか考える 【学びに向かう力、人間性等】 消費トラブルに対し様々な解決方法を見極める意欲があるか	・消費生活 ・教科書・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 消費者の現状について理解し、トラブルの事例を知ることができたか 【思考・判断・表現】 消費トラブルに対し、対処・対策方法を理解し、事例理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 消費行動で学んだことを実社会で実践する意欲があり、対処方法について主体的に考えることができたか	○	○	○	10
	G 単元 【知識及び技能】 金融商品・金利・利子の違いについての知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 消費社会の実現に向けて自立した消費者としてどの様に金融商品を利用すべきか考える 【学びに向かう力、人間性等】 金融トラブルに対し様々な解決方法を見極める意欲があるか	・消費生活 ・教科書・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 金融商品の現状について理解し、トラブルの事例を知ることができたか 【思考・判断・表現】 投資トラブルに対し、対処・対策方法を理解し、事例理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 消費行動で学んだことを実社会で実践する意欲があり、対処方法について主体的に考えることができたか	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1
	合計						70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年）教科 家庭 科目 専門家庭

教科： 家庭 科目： 専門家庭 単位数： 2単位 対象学年組： 第2学年A組

使用教科書：（ 教育図書『高等学校 家庭基礎 Survive!!』 ）

教科の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 専門家庭 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 衣生活の衛生管理と簡単な製作について実践し、環境に配慮した衣生活について身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか	・衣生活 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等	【知識・技能】 生地や素材の構成について理解し、環境に配慮した衣生活を身に付けることができたか 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない被服を考え、実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作する準備・片付けができたか	○	○	○	14
	B 単元 【知識及び技能】 基礎的な手縫いと平面構成の簡単な製作について実践し、身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか	・衣生活 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等	【知識・技能】 基礎的な手縫いについて理解することができたか 【思考・判断・表現】 基本的な手順を針・布を用いて実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作する準備・片付けができたか	○	○	○	18
2 学 期	c 単元 【知識及び技能】 立体構成と簡単な製作について実践し、環境に配慮した衣生活について身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか	・衣生活 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等	【知識・技能】 立体の構成について理解し、身体に合ったサイズ構成を身に付けることができたか 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない被服を考え、製作実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作する準備・片付けができたか	○	○	○	14

<p>c 単元</p> <p>【知識及び技能】 立体構成と簡単な製作について実践し、環境に配慮した衣生活について身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作法を考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか</p>	<p>・衣生活 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等</p>	<p>【知識・技能】 立体の構成について理解し、身体に合ったサイズ構成を身に付けることができたか</p> <p>【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない被服を考え、製作実践できたか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作する準備・片付けができたか</p>	○	○	○	12
<p>c 単元</p> <p>【知識及び技能】 立体構成・平面構成や服飾手芸等、簡単な製作について自らデザインし、型を作ることを身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作作品をデザインする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか</p>	<p>・衣生活・服飾手芸等 ・教科書・資料集 ・被服実習用具 等</p>	<p>【知識・技能】 立体構成・平面構成・服飾手芸の構成を身に付けることができたか</p> <p>【思考・判断・表現】 豊かな表現力で製作実践できたか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを実技として実践する意欲があり、実践できたか、安全に被服製作・服飾手芸する準備・片付けができたか</p>	○	○	○	12
合計						70

使用教科書：(大修館書店『言語文化』)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、一年次に養った古典の基礎・基本についての力を発展させる。

【思考力、判断力、表現力等】古典の学習を通して生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】まとまりのある古文を読み、我が国の伝統と文化に対する関心を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を伸ばす。

科目 古典A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、一年次に養った古典の基礎・基本についての力を発展できるようにする。	古典の学習を通して論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	まとまりのある古文を読み、我が国の伝統と文化に対する関心を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話聞	書	読					
1 学 期	A単元『宇治拾遺物語』『絵仏師良秀』  【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり議論したりする。  【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取る。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 歴史的仮名遣いについて 品詞や文節について 重要古語について 動詞の活用について	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。  【思考・判断・表現】 ・本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ・良秀の行動と理由を理解している。 ・良秀の人物像についてまとめている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意欲的に取り組んでいる。 ・古文に親しもうとしている。 ・登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B単元『伊勢物語』『筒井筒』 【知識及び技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 和歌の修辞法について 古の恋愛・結婚のあり方について 助動詞について	○	○	○	【知識・技能】 ・本文の歴史的・文化的背景をまとめ、古典の世界に関心を示している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味わっている。  【思考・判断・表現】 ・「和歌」を自由に解釈し、自分の経験や想像性を生かしながら物語を創作している。 ・本文における古人のものの見方、感じ方、考え方について発表をしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に興味をもち、歌に込められた男女の心情を深く味わい、文章や和歌の技法を自分の表現力に活かしたりしようとしている。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	

<p>B 単元「古人の旅立ち」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅に出るまでの習わしや時代背景を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>「書くこと」において、日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>古人の旅立ちに対する思いに関心を持ち、また、創作と歴史の違いを理解し、自分の言葉でまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>・指導事項</li> </ul> <p>古人の旅に出るまでの習わしについて</p> <p>日記帳の文体の理解</p> <p>助動詞</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の歴史的・文化的背景をまとめ、古典の世界に関心を示している。</li> <li>・旅に出るまでの習わしや時代背景を理解しようとしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成やリズムを味わい、古文独特の雰囲気を理解しながら、朗読の仕方を工夫している。</li> <li>・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考えられている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の旅立ちに対する思いに関心を持ち、また、創作と歴史の違いを理解し、自分の言葉でまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査						○	○		1
<p>A 単元『平家物語』『木曾の最期』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和漢混交文や言語一致体などの文体を時代背景とともに理解をする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>「読むこと」において、文体や表現によってとらえ方が異なることを読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に興味を持ち、歴史的な記録と、語り伝えられる物語との違いを捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>・指導事項</li> </ul> <p>語り特有なリズムについて</p> <p>言語一致体や和漢混交文について</p> <p>助動詞について</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の歴史的・文化的背景をまとめ、古典の世界に関心を示している。</li> <li>・和漢混交文の特徴や校正を理解しながら、敬語や音便について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成やリズムを味わい、古文独特の雰囲気を理解しながら、朗読の仕方を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平家物語が後世の文化や芸能に与えた影響などについて関心を持ち、また、創作と歴史の違いを理解し、自分の言葉でまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査						○	○		1
<p>B 単元 漢文に親しむ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返り点の読み方を理解する。</li> <li>・再読文字の含まれた文章を正しい語順で読むことができるようにする。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。</li> <li>・重要語句や句法、漢字の意味を理解するため漢和辞典を活用している。</li> <li>・対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。</li> <li>・内容に表れた学問、政治に対する考え方を理解し、説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に興味を持って意欲的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	17
定期考査						○	○		1
									合計 31

使用教科書：（高校生の音楽2）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造の関わりや音楽の多様性について理解を深め、ふさわしい表現をするのに必要な知識・技能が身についている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、自分なりの意図を持って表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	音楽活動に対して主体性をもって授業に臨み、音楽活動に対して積極性をもって授業に取り組み、目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	A 歌唱 野ばら 【知識及び技能】 ドイツ語の発音のルールに則り、正確な音程で歌唱する。 【思考力、判断力、表現力等】 ドイツ語の発音とメロディの関わりを意識し、ふさわしい表現の意図を考えて歌唱する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱活動や楽曲の理解に積極的な姿勢を持つ。	・楽譜	○			○	・ドイツ語の発音のルールに則り歌唱できている。 ・正確な音程で歌唱できている。 ・ドイツ語の発音とメロディの関わりを意識し、ふさわしい表現の意図を考えて歌唱できている。 ・歌唱活動や楽曲の理解に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10	
	B 器楽 軽音楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身につけ、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、表現に工夫して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、バンドの音の調和を意識して合奏に貢献する。	・ギター ・ベース ・ドラム		○			○	・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、表現に工夫して演奏できている。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。 ・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。	○	○	○	10
	C 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・スピーカー ・一人一台端末				○	○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができる。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	10

	様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。									
2 学期	D 器楽 軽音楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、表現に工夫して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、バンドの音の調和を意識して合奏に貢献する。	・ギター ・ベース ・ドラム	○		・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、表現に工夫して演奏できている。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。 ・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。	○	○	○	○	15
	E 創作 カノンコードで作曲しよう 【知識及び技能】 作曲のルールや初歩的なコード進行の規則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コード進行と旋律の関わりを意識し、音の配置を試行錯誤して創作活動に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い曲になるよう、自分なりの感性で積極的に創意工夫に取り組む。	・ギター ・一人一台端末		○	・作曲のルールや初歩的なコード進行の規則について理解している。 ・コード進行と旋律の関わりを意識し、音の配置を試行錯誤して創作活動に取り組んでいる。 ・より良い曲になるよう、自分なりの感性で積極的に創意工夫に取り組んでいる。	○	○	○	○	15
3 学期	E 創作 カノンコードで作曲しよう 【知識及び技能】 作曲のルールや初歩的なコード進行の規則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コード進行と旋律の関わりを意識し、音の配置を試行錯誤して創作活動に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い曲になるよう、自分なりの感性で積極的に創意工夫に取り組む。	・ギター ・一人一台端末		○	・作曲のルールや初歩的なコード進行の規則について理解している。 ・コード進行と旋律の関わりを意識し、音の配置を試行錯誤して創作活動に取り組んでいる。 ・より良い曲になるよう、自分なりの感性で積極的に創意工夫に取り組んでいる。	○	○	○	○	5

<p>C 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠つけて自分なりの言葉で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーカー</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>			<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。</li> <li>・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠つけて自分なりの言葉で表現することができる。</li> <li>・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。</li> </ul>	○	○	○	5
								合計
								70

年間授業計画

神津高等学校令和5年度（2学年用）教科 地歴公民科 科目 現代社会演習

教科：地歴公民科 科目：現代社会演習

単位数：1 単位対象学年組：第 2 学年 A 組

使用教科書：『高等学校 公共』（帝国書院）

教科 地歴公民科 の目標：

【知識及び技能】現代の諸課題を追究するための概念や理論を理解する。必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、合意形成に必要な議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 現代社会演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野にいれながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、自国を愛し、其の平和と繁栄をはかることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「青年期と社会参画」</p> <p>【思考・判断・表現】青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索するとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について考え、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解し、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察する。</p>	<p>・指導事項： 個人の尊厳と自主・自律、 人間と社会の多様性と共通性</p> <p>・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】先哲の在り方・生き方について理解を深め、先哲の著した原典資料を適切に活用し、その思想に関する基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】先哲の在り方・生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元「宗教・思想・伝統文化と社会」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識するとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索するとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解し、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について主体的に考察する。</p>	<p>・指導事項 生命倫理と葛藤 幸福と正義</p> <p>・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】生命科学や科学技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】幸福・正義・公正などに着目して現代社会の諸課題について主体的に関わろうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>単元「倫理的な見方・考え方」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ハーバースマスやアーレント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について主体的に考えている。</p>	<p>・指導事項 他者との共生 公正と正義</p> <p>・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】幸福・正義・公正などに着目して現代社会の諸課題について主体的に関わろうとし、その過程を表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○		2
中間レポート				○	○	
<p>単元「社会の基本原則」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>・指導事項 基本的人権の尊重 近代民主主義の成立</p> <p>・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を多面的・多角的に考察し、わかりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現実社</p>	○	○	○	3

<p>日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解し、現代社会との関連について主体的に考えている。</p>		<p>会の多数決事例の資料などを活用して、合意形成の在り方について主体的に考えている。</p>				
<p>単元「人権の尊重と日本国憲法」 【知識及び技能】 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解する。 【思考・判断・表現】 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】個人の人権、自由、平等などの社会的価値について現実社会の情勢を踏まえながら考えている。</p>	<p>・指導事項 日本国憲法の基本原理 ・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解し、身につけている。 【思考・判断・表現】 個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>単元「民主政治の成立と課題」 【知識及び技能】 ・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解する。 【思考・判断・表現】 ・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解し、主権者（有権者）として社会に関わる方法について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に構想している。</p>	<p>・指導事項 民主政治の課題 政治参加の意義 ・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。 【思考・判断・表現】平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>期末レポート</p>			○	○		
<p>単元「日本の主権と領土」 【知識及び技能】 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。</p>	<p>・指導事項 日本の安全保障 国際平和 ・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】司法や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、司法や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。 【思考・判断・表現】 司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を高めている。</p>	○	○	○	2
<p>単元「平和主義と日本」 【知識及び技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に日本の平和主義と安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 日本の安全保障 国際平和 ・教材 教科書・自作プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】憲法の平和主義についての内容や、今日の安全保障をめぐる情勢について理解している。 【思考・判断・表現】平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結びつけて関心を高めている。</p>	○	○	○	3
<p>中間レポート</p>			○	○		

<p>単元「市場経済の仕組み」</p> <p>【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 市場経済の仕組み 職業選択</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えにちかづけて考察しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>単元「金融の役割」</p> <p>【知識・技能】 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 金融の働き 雇用と労働 財政と社会保障</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>市場、金融、財政のしくみについての基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。また、企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連しながら考察しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>期末レポート</p>			○	○		



神津高等学校令和5年度（2学年用）教科 地歴公民科 科目 公共

教科：地歴公民科 科目：公共

単位数：2 単位対象学年組：第 2 学年 A組

使用教科書：『高等学校 公共』（帝国書院）

教科 地歴公民科 の目標：

【知識及び技能】現代の諸課題を追究するための概念や理論を理解する。必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、合意形成に必要な議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野にいれながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民権を担う公民として、自国を愛し、其の平和と繁栄をはかることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元「青年期と社会参画」</p> <p>【知識及び技能】 ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察する。</p>	<p>・指導事項： 個人の尊厳と自主・自律、 人間と社会の多様性と 共通性</p> <p>・教材 教科書・自作プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 青年期の発達課題について、その特徴を考察するための知識を理解し、身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 青年期を理解する資料を収集し、青年期の特徴について思考・判断し、その内容について分かりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「宗教・思想・伝統文化と社会」</p> <p>【知識・技能】 カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について主体的に考察している。</p>	<p>・指導事項 生命倫理と葛藤 幸福と正義</p> <p>・教材 教科書・自作プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解し、身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会との関わり方を知る資料を収集し、働くことの意義や、自己の職業選択に関して思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 幸福・正義・公正などに着目して現代社会の諸課題について主体的に関わろうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元「倫理的な見方・考え方」</p> <p>【知識及び技能】 経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解する。</p>	<p>・指導事項 他者との共生 公正と正義</p> <p>・教材 教科書・自作プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 近代科学の精神について理解し、学ぶことの考察に必要な知識を理解し、身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 幸福・正義・公正などに着目して現</p>	○	○	○	4

<p>【思考・判断・表現】 社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ハーバースやアーレント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について主体的に考えている。</p>		<p>代社会の諸課題について主体的に関わろうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元「社会の基本原則」</p> <p>【知識及び技能】 個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民主主義の成立について、その歴史的背景と経緯について理解し、現代社会との関連について主体的に考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項 基本的人権の尊重 近代民主主義の成立</li> <li>・ 教材 教科書・自作プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 近代立憲主義の考え方の基本的な理解を踏まえ、国民主権、基本的人権の尊重、権力分立、法の支配など、近代憲法を構成する諸原則に関する知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代立憲主義の考え方をを用いて、国づくりにおける憲法制定の重要性などについて判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の多数決事例の資料などを活用して、合意形成の在り方について主体的に考えている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「人権の尊重と日本国憲法」</p> <p>【知識及び技能】 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について現実社会の情勢を踏まえながら考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項 日本国憲法の基本原理</li> <li>・ 教材 教科書・自作プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解し、身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会との関わり方を知る資料を収集し、働くことの意義や、自己の職業選択に関して思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義について主体的に考えている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「民主政治の成立と課題」</p> <p>【知識及び技能】 ・ 民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解し、主権者（有権者）として社会に関わる方法について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に構想している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項 民主政治の課題 政治参加の意義</li> <li>・ 教材 教科書・自作プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 近代立憲主義のあゆみに関する基本的な理解を踏まえ、普通選挙の意義、自由国家と福祉国家、全体主義などに関する知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代立憲主義と民主主義、君主制と共和制などに関する基本的な考え方をを用いて、安定した政治体制のあり方などについて判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に 社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1

	<p>単元「日本の主権と領土」</p> <p>【知識及び技能】 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 日本の安全保障 国際平和</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 国会・内閣の仕組みを理解するとともに、日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。</p> <p>司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に日本の平和主義と安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
2学期	<p>単元「平和主義と日本」</p> <p>【知識及び技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に日本の平和主義と安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 日本の安全保障 国際平和</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場経済の考え方をを用いて、市場機構や分業のあり方を理解し、その内容を分かりやすく表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結びつけて関心を高めている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「市場経済の仕組み」</p> <p>【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 市場経済の仕組み 職業選択</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場経済の考え方をを用いて、市場機構や分業のあり方を理解し、その内容を分かりやすく表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元「金融の役割」</p> <p>【知識・技能】 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想し、表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 金融の働き 雇用と労働 財政と社会保障</li> <li>・教材 教科書・自作プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 金融のしくみと役割や、新たな金融の形態、日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態に</p>	○	○	○	7



高等学校 令和5年度（2学年用）教科 数学科 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 4単位数： 単位対象学年組：第2 学年A組

使用教科書：（数研出版数学Ⅱ）

教科 数学の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<b>A 単元：方程式・式と証明</b> <b>【知識及び技能】</b> 3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 分数式とその約分と通分、四則計算について、数の四則計算と関連付けて理解し、その計算ができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> パスカルの三角形と $[(a+b)]^n$ の展開式における各項の係数について考察し、二項定理を用いて、式を展開することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	<b>【知識・技能】</b> 3次の乗法公式や因数分解の公式を用いて、計算することができる。 ※例 1, 2, 問 1, 2 <b>【思考・判断・表現】</b> 分数式について、数の四則計算と関連付けて考察することができる。 ※例 5～1 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・パスカルの三角形の数の並び方を考察し、式の展開に活用しようとしている。 ※Act. 1, 2	○	○	○	10
	<b>B 単元：複素数と方程式</b> <b>【知識及び技能】</b> 虚数、複素数について理解し、数を拡張することに興味をもつ。さらに、複素数の計算ができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> すべての2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 2次方程式の解と係数の関係について理解し、与えられた2数を解とする2次方程式を求めることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	<b>【知識・技能】</b> ・複素数の相等を用いて、問題を解くことができる。 ※例 3, 問 3 ・虚数単位を用いて、複素数の計算をすることができる。 ※例 4, 問 4 ・共役な複素数の性質を用いて、複素数の除法を計算することができる。 ※例 5, 6, 問 5 <b>【思考・判断・表現】</b> ・2次方程式の解の種類について、判別式を用いて考察することができる。 ※例題 2 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	○	○	○	16

		<p>・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について考察しようとしている。</p> <p>※Act. 1</p>					
	<p>C 単元:式と証明</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>左辺と右辺の差や左辺の2乗と右辺の2乗の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それをを用いて不等式を証明することができる。</p> <p>【学び身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。に向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明することができる。</p> <p>※例 1, 例題 1, 2, 問 1~3</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>不等式の証明について、論理的に考察することができる。</p> <p>※例 2~5</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>身近な問題を解決することに、高次方程式を活用しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>D 単元:図形と方程式</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、座標平面について理解し、平面上の2点間の距離を求めることができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、座標平面について理解し、平面上の2点間の距離を求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上や平面上の内分点・外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>数直線上や平面上の2点間の距離を求めることができる</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>平面上の2点間の距離の公式を用いて、三角形の形状を考察することができる。</p> <p>※例題 1, 問 5</p> <p>・身近な問題を解決することに、座標平面を活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>定理の証明に、座標を活用しようとしている。</p>	○	○	○	18
2 学 期	<p>A 単元:円</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>円と直線の共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>与えられた条件から円の方程式を求めることができる。</p> <p>※例 1, 例題 1, 問 1, 3</p> <p>・円の方程式から円の中心の座標と半径を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号から考察することができる。</p>	○	○		9
	<p>B 単元:軌跡と領域</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>連立不等式が表す領域を図示することができる。また、それを活用することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>不等式が表す領域を図示することができる。</p> <p>※例 1~3, 例題 2, 問 3~8</p> <p>・領域を不等式に表すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><math>x+y</math> の値の最大値を求めることに、連立不等式が表す領域を活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>軌跡が表す図形について考察しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>C 単元:三角関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	○	○	○	14



高等学校 令和5年度（2学年用）教科 数学 科目 数学B

教科：数学 科目：数学B 単位数：2 単位 対象学年組：第2 学年A組

使用教科書：(数研出版数学B)

教科 数学の目標：

- 【知識及び技能】 数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化し、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断し、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

科目 数学Bの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。</li> <li>・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。</li> <li>・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</li> </ul>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：数列  【知識及び技能】 数列の表し方や一般項の意味を理解し、数列の各項や、数列の一般項を求めることができる。  【思考力、判断力、表現力等】 等差数列について理解し、その一般項や和を求めることができる。また、いろいろな自然数の和の考察に、等差数列の和の公式を活用することができる。  【学びに向かう力、人間性等】 等比数列について理解し、その一般項や和を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用等</li> </ul>	【知識・技能】 ・等差数列について理解し、その一般項を求めることができる。 ※例 5～7, 例題 1, 2, 問 5～9 ・等差数列の和を求める方法を理解し、和を求めることができる。  【思考・判断・表現】 日常の事象を数学的に捉え、等比数列の考えを問題解決に活用することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・規則的に並ぶ数の列や日常の中にある数の並びに関心を持ち、その規則性を発見しようとしたり、説明しようとしたりしている。 ※Act. 1, 2	○	○	○	16
	B いろいろな数列  【知識及び技能記号】 $\Sigma$ を用いた和の表し方や $\Sigma$ の性質を理解し、自然数の和の公式や自然数の2乗の和の公式を利用して、いろいろな数列の和を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用等</li> </ul>	【知識・技能】 ・記号 $\Sigma$ を用いた和の表し方や $\Sigma$ の性質を理解している。 ※例 1～3, 問 1～3	○	○	○	18

	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>階差数列からもとの数列の一般項を求める方法を理解し、一般項を求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>数列の和から一般項を求めることや、分数で表された数列の和を求めることができる。</p>		<p>・公式を利用して自然数の和や自然数の2乗の和を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・分数で表された数列の和の求め方について考察しようとしている。</p>				
2 学 期	<p>A 単元:漸化式と数学的帰納法</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表すことや、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>数学的帰納法について理解し、自然数の性質などを数学的帰納法を用いて証明することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>数学的帰納法について理解し、自然数の性質などを数学的帰納法を用いて証明することができる</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・数列の隣接する2項間にある再帰的な関係に着目し、それを式に表そうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自然数の性質などを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し、多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・数学的帰納法を用いた証明と他の証明方法を比較し、多面的に考察しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>B 単元:正規分布</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>標本調査の考え方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>確率変数と確率分布について理解し、確率分布を求めることができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>確率変数の分散及び標準偏差について理解し、確率分布からその確率変数の分散及び標準偏差を求めることができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>確率変数と確率分布について理解し、確率分布を求めることができる</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・確率変数の分散と確率分布の特徴の関係について考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	13
3 学 期	<p>A 単元:統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>標本平均の分布と母集団の分布の関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>母平均の区間推定の方法を理解し、母平均に対する信頼区間を求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>正規分布を用いた仮説検定の方法を理解し、主張の妥当性について、仮説検定の考え方に基づいて批判的に考察することができる</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・主張の妥当性について、仮説検定の考え方に基づいて批判的に考察することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・母平均に対する信頼区間と標本の大きさの関係について考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>標本の大きさと標本平均の分布の関係について考察しようとしている。</p>	○	○	○	12
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 数学 科目 数学基礎演習

教科：数学 科目：数学基礎演習 2単位数： 単位対象学年組：第2 学年A組

使用教科書：(数研出版 新編数学I 新編数学A)

教科 数学の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学基礎演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。</li> <li>・データの収集、数式やグラフを活用する方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。</li> <li>・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	数や式に関する基本的な内容と活用 ・数の計算 ・式の計算 ・因数分解 ・約数と倍数 ・平方根の計算	・指導事項 ・教材 ・office365 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・数の計算、式の計算について理解し、その一般項を求めることができる。 ・約数と倍数を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 日常の事象を数学的に捉え、数学的思考を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の中にある数に関心をもち、その規則性を発見しようとしたり、説明しようとしたりしている。	○	○	○	8
	方程式や不等式に関する基本的な内容と活用 ・1次方程式、連立方程式 ・2次方程式 ・不等式 ・文章問題	・指導事項 ・教材 ・office365 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・方程式、不等式を用いた式の表し方や方程式、不等式の性質を理解している。 ・文章問題を方程式、不等式を用いて解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・方程式、不等式を利用して、事象を数学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・方程式、不等式を利用し日常生活の事象について考察しようとしている。	○	○	○	9
2 学期	関数やグラフに関する基本的な内容と活用 ・1次関数とグラフ ・2次関数とグラフ	・指導事項 ・教材 ・office365 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・事象の数式的な関係に着目し、それを式やグラフで表そうとしている。 【思考・判断・表現】 ・日常生活の中の事象を、関数やグラフなどを用い多面的に考察することができる。	○	○	○	13

			【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活の中の事象を、関数やグラフなどを用い比較検討でき、分析に活用しようとしている。				
	図形に関する基本的な内容と活用 ・図形と角 ・合同な図形 ・相似な図形 ・円 ・図形の面積 ・三平方の定理	・指導事項 ・教材 ・office365 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日常に存在する図形や測量問題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形に関する性質を活用し、問題解決や調査測量したデータの分析に活用しようとしている。	○	○	○	15
3 学 期	空間図形や三角比及び確率に関する基本的な内容と活用 ・立体の体積と表面積 ・三角比 ・場合の数 ・確率 ・文章問題	・指導事項 ・教材 ・office365 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・空間図形や三角比、確率の考え方に基づいて事象を考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・身の回りの事象や社会問題等を空間図形や三角比、確率の考え方に基づいて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比及び確率、空間図形に関する性質を活用し、問題解決や調査測量したデータの分析に活用しようとしている。	○	○	○	25
							合計 70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎

単位数： 2単位 対象学年組：第 2学年A組

使用教科書：（新編生物基礎（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 生物の特徴 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物には多様性がありながら共通性があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 生物の特徴に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	1 生物の特徴 生物とエネルギー 【知識及び技能】 資料をもとに、生命活動にはエネルギーが必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 酵素に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 生物とエネルギーに関して、科学的に探求しようとする態度を養う	・指導事項 生体とATP 酵素のはたらき 呼吸と光合成 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物とエネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	2 遺伝子とのはたらき 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 DNAを構造とはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAに関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 DNAに関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 生物と遺伝子 DNAの構造 DNAの複製と分配 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 DNAの構造とはたらきについて、物質DNAの構造や物質としての特徴を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 DNAの構造とはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの構造とはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	2 遺伝子とのはたらき 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】 遺伝情報とタンパク質合成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝情報の発現に関する調査やデータ解析などを行い、科学的に探究する力を養う。	・指導事項 タンパク質 タンパク質と遺伝情報 細胞の分化と遺伝子 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 遺伝情報が発現するしくみについて、遺伝情報の転写と翻訳の基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報が発現するしくみについて、問題を見いだし見通しをもつ	○	○	○	8

	<p>【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報の発現に関して、科学的に探求しようとする態度を養う</p>		<p>て観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報が発現するしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>					1
	定期考査							1
2 学 期	<p>3 ヒトの体の調節 ヒトの体を調節するしくみ</p> <p>【知識及び技能】 自律神経系と内分泌系のはたらきについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自律神経系に関する観察、調査などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 D ヒトの体内環境に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 体内環境 自律神経系による情報伝達 内分泌系による情報伝達 血統値の調節</p> <p>・教材 教科書、補助教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ヒトの自律神経系と内分泌系のしくみについて、体内環境の調節の基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ヒトの自律神経系と内分泌系のしくみについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体内環境を調節するしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>					12
	定期考査							1
	<p>【知識及び技能】 免疫のしくみと免疫細胞のはたらきについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 免疫に関する調査などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 免疫のしくみ 免疫の応用 免疫とさまざまな疾患</p> <p>・教材 教科書、補助教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ヒトの免疫のしくみについて、免疫細胞のはたらきに関する基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ヒトの免疫のしくみについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトの免疫に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>					12
	定期考査							1
3 学 期	<p>4 生物の多様性と生態系 植生と遷移 生態系と生物の多様性</p> <p>【知識及び技能】 植生の遷移とバイオームについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植生や生態系に関する観察などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植生や生態系に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 植生の遷移とバイオーム 生態系における生物の多様性 生態系における生物間の関係 生態系の保全</p> <p>・教材 教科書、補助教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 生態系のしくみについて、バイオームの分布や生物間の関係の基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系のしくみについて、バイオームの分布や生物間の関係などについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>					12
	定期考査							1
								合計
								70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科：総合的な探究の時間

単位数：2 単位 対象学年組：第 2 学年 A 組

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を想像し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を想像し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 探究活動への導入 【知識及び技能】 他者と関わる活動において地域社会や他者の価値や自分の職業観や進路に触れ、他者と協働する意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会や他者の価値や自分の職業観や進路に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ活動を通して集団や地域社会、自分の職業観や進路に主体的に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「地域社会の実態や自己の進路を理解し、自分や他者について知ろう。」 ・一人1台端末の活用 地域社会の現状を把握するための活用	【知識・技能】 ・他者と関わるグループ活動において地域社会や進路について他者の価値に触れ、他者と協働して活動することができる。（行動の観察、ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・地域社会や他者の進路や価値に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明することができる。（行動の観察、ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループ活動を通して集団や地域社会に主体的に関わろうとする。（行動の観察）	○	○	○	6
	B 単元 探究活動の課題設定 【知識及び技能】 課題設定する活動に必要な情報の収集・整理・分析し、見通しをもった課題の設定をする。 【思考力、判断力、表現力等】 話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ活動を通して集団や主体的に自己の進路や地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする態度を養う。	・指導事項 「探究活動に関わって一人一テーマを模索し見通しをもって課題設定をしよう。」 ・一人1台端末の活用 課題設定の模索や、設定した課題に対して見通しをもつための活用	【知識・技能】 ・課題設定する活動に必要な情報の収集・整理・分析し、見通しをもった課題設定ができる。（行動の観察、ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し他者に説明できる。（行動の観察、ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループ活動を通して集団や主体的に自己の進路や地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする。（行動の観察、ワークシート）	○	○	○	16
2 学期	A 単元 探究活動の実践 【知識及び技能】 自ら設定した課題に正対して目的意識をもち、必要な知識と技能をきちんと調べ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を探究する活動を通して、体験したことをきちんと考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 「一人一テーマの体験的な探究活動を実践しよう。」 ・一人1台端末の活用 体験活動など探究活動を深める上で情報収集、取捨選択する。	【知識・技能】 ・自ら設定した課題に正対して目的意識をもち、必要な知識と方法を調べ理解することができる。（行動の観察、ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・課題を探究する活動を通して、体験したことを考察し、他者に説明することができる。（行動の観察、ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位 対象学年組：第2学年A組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと。</p> <p>実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・体の動きを高める運動</li> <li>・実生活に生かす運動の計画</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解している。</li> <li>・体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解している。</li> <li>・実生活への取り入れ方には、自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを理解している。</li> <li>・課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践、学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</li> <li>・運動に取り組む場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。</li> <li>・仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</li> <li>・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</li> <li>・体づくり運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</li> <li>・課題解決に向けて話し合う場面で、合意形成に貢献しようとする。</li> <li>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>B ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール</li> <li>・バッティング</li> <li>・状況に応じた守備の練習</li> <li>・ゲーム</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボールの技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</li> <li>・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p>	○	○	○	8

<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。</p>		<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・ソフトボールの学習に主体的に取り組もうとしている ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>				
<p>C 水泳</p> <p><b>【知識及び技能】</b> クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール</li> <li>・平泳ぎ</li> <li>・背泳ぎ</li> <li>・バタフライ</li> <li>・複数の泳法で長く泳ぐ</li> <li>・海難救助法</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解している。 ・水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。 ・課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ・選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・練習や競技会などの場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・バディやグループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ・水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、支える、知る」などの生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	8
<p>D 体育理論</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツにおける技能と体力</li> <li>・スポーツにおける技術と戦術</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> ・技能と体力の関係について説明している。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。 ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明している。</p>	○	○	○	2

	<p>運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>		<p>・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・運動やスポーツの技能を発揮するには、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることにについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。</li> <li>・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えようとしている。</li> </ul>				
2 学 期	<p>E ダンス</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なステップ</li> <li>・課題ダンス</li> <li>・グループ創作</li> <li>・発表会</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。</li> <li>・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをした、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	9

<p>F バスケットボール</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート</li> <li>・パス</li> <li>・ドリブル</li> <li>・戦術</li> <li>・ゲーム</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</li> <li>・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>G バレーボール</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パス</li> <li>・スパイク</li> <li>・サーブ</li> <li>・戦術</li> <li>・ゲーム</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</li> <li>・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保している。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>H 体育理論</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。またこれらの獲得には、一定の期間がかかることを理解できるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の上達過程と練習</li> <li>・効果的な動きのメカニズム</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能がどのようなステップを経て上達するか説明できる。</li> <li>・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。</li> <li>・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。</li> <li>・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運</li> </ul>	○	○	○	2

			<p>動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることに、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。</li> <li>・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。</li> </ul>				
3 学 期	<p>I バドミントン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリア</li> <li>・ヘアピン</li> <li>・ドロップ</li> <li>・ロビング</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・ドライブ</li> <li>・サービス</li> <li>・シングルス</li> <li>・ダブルス</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</li> <li>・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>J 卓球</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォアハンド</li> <li>・バックハンド</li> <li>・サービス</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・ツッツキ</li> <li>・シングルス</li> <li>・ダブルス</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</li> <li>・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに</li> </ul>	○	○	○	8

<p>卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている</p>				
<p><b>K 体育理論</b>  <b>【知識及び技能】</b>      目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できるようにする。      筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができるようにする。      運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを理解できるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>      運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>      運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体カトレーニング</li> <li>・運動やスポーツでの安全の確保</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。</li> <li>・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>			<p>2</p> <p>合計 70</p>

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 地歴公民 科目 日本史探究

教科：地歴公民 科目：日本史探究

単位数：2 単位対象学年組：第1 学年A組

使用教科書：（『詳説日本史日本史探究』山川出版社 『新詳日本史』浜島書店）

教科 地歴公民の目標：

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	先史古代の東アジア 【知識・技能】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、先史古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考判断表現】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする。 【学びに向かう力、人間性】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	先史古代の東アジア 【知識・技能】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、先史古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思考判断表現】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。				12
	定期考査			○	○		1
	先史古代の東アジア② 【知識及び技能】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、先史古代の日本と東アジアに	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、先史古代	○	○	○	5

<p>関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>		<p>の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>				
<p>中世の日本</p> <p>【知識及び技能】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>中世の日本</p> <p>【知識及び技能】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2 学 期</p> <p>中世の日本②</p> <p>【知識及び技能】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>” ・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>”中世の日本</p> <p>【知識及び技能】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>	○	○	○	7

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>						
<p>近世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】</p> <p>近世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考判断表現】</p> <p>中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>近世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】</p> <p>近世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考判断表現】</p> <p>中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>中世の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしている。</p>				14
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>近代の日本と世界</p> <p>【知識技能】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考判断表現】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>近代の日本と世界</p> <p>【知識技能】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考判断表現】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う</p>	○	○	○	7



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位 対象学年組：第2学年 A組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 生涯を通じる健康</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。</p>	<p>01 ライフステージと健康</p> <p>02 思春期と健康</p> <p>03 性意識と性行動の選択</p> <p>04 妊娠・出産と健康</p> <p>05 避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>06 結婚生活と健康</p> <p>07 中高年期と健康</p>	<p>A 単元：生涯を通じる健康</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもち、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護など</li> </ul>	○	○	○	10

1  
学  
期

	<p>の必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が増え変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、を理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。</li> <li>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。</li> <li>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。</li> <li>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> <li>・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。</li> <li>・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。</li> <li>・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。</p>	<p>08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活</p>	<p>A 単元：生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策を取る必要があることを理解できるようにする。 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを</p>	<p>01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備</p>	<p>B 単元：健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	○	○	○	7

<p>目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。</p>		<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。</li> <li>・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>B 健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解できるようにする。</p> <p>食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解できるようにする。</p> <p>生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、イ客品を正しく使用することが有効であることを理解できるようにする。</p> <p>わが国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。</p> <p>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生</p>	<p>05 食品の安全性</p> <p>06 食品衛生にかかわる活動</p> <p>07 保健サービスとその活用</p> <p>08 医療サービスとその活用</p> <p>09 医薬品の制度とその活用</p> <p>10 さまざまな保健活動や社会的対策</p> <p>11 健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>B 単元：健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	○	○	○	10

<p>活を営む態度を養うことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・ 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・ 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。</li> <li>・ 食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> <li>・ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・ 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。</li> <li>・ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> <li>・ 様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・ 地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。</li> <li>・ 様々な保健活動や社会的対策について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> <li>・ 健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・ ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。</li> <li>・ 健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

		様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
定期考査		健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○		1
						合計
						35